

* デスポチップ筆積L(ピンク)、デスポチップ筆積S(緑)、
スポンジ(L・S)は再使用禁止

エムシーピーボンド

*【禁忌・禁止】

本材又はメタクリル酸エステル系モノマーに対して発疹、皮膚炎などの過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと(使用上の注意の項参照)。
デスポチップ筆積L(ピンク)、デスポチップ筆積S(緑)、スポンジ(L・S)は再使用禁止[感染のおそれがあるため]

【形状・構造及び原理等】

以下の構成成分があり、記載の成分を含有します。

構成成分	性状	組成
パウダー	粉末	PMMA、BPO、その他
リキッド	液体	MMA、芳香族アミン、その他
アクチベーター	液体	MMA、4-META、その他
表面処理材レッド	液体	りん酸、水、その他

付属品: ダッペンディッシュ、スポンジ(L・S)、デスポ用筆柄(直)、デスポ用筆柄(曲)、
デスポチップ筆積L(ピンク)、デスポチップ筆積S(緑)

【原理】

粉末と液体を混合することにより、常温で重合反応して硬化する。

【使用目的又は効果】

歯列矯正用アタッチメントを歯又は歯科修復物に接着する。

[組み合わせる表面処理材レッドの使用目的]

歯又は歯科修復物のエッチング(技工専用を除く)に用いる。

*【使用方法等】

1) 被着面処理

(1) エナメル質の場合

- ① 通法に従って歯面を十分に清掃し、水洗・乾燥します。
- ② 歯面にスポンジで表面処理材レッドを塗布し、30秒経過後、十分に水洗・乾燥します。

(2) 金属面の場合

非貴金属の場合は、被着面にアルミナサンドブラスト処理を行った後、水洗・乾燥します。貴金属の場合は、被着面にアルミナサンドブラスト処理を行い、水洗・乾燥を行った後、歯科金属用接着材料(例えば、「V-プライマー」)を塗布し軽くエアブローします。

(3) 陶材面及びレジン面の場合

被着面を清掃して接着阻害要因を除去します。必要に応じて被着面を一層研削又はアルミナサンドブラスト処理した後、被着面を清掃します。その後、歯科セラミックス用接着材料(例えば、「スーパーボンド PZプライマー」)を塗布し軽くエアブローします。

2) 接着材の準備

(1) パウダーをダッペンディッシュに必要量採取します。

- ・パウダーの採取にはダッペンディッシュの表示Pの丸皿を使用してください。
- ・プレプライムド・テクニックを行うときは、パウダーの採取は不要です。

(2) リキッド、アクチベーターをダッペンディッシュの同じ丸皿に等量採取し、デスポ用筆柄に装着したデスポチップで混合して接着液を調整します。

- ・リキッド、アクチベーターの採取にはダッペンディッシュの表示Lの丸皿を使用してください。
- ・リキッド、アクチベーターの混合液は揮発性なので5分以内に使用してください。

3) ブラケットの接着

ブラケットの接着には、以下の2種類の方法があります。チューブなどについてはブラッシュ・オン・テクニックで使用してください。

(1) ブラッシュ・オン・テクニック

- ① デスポ用筆柄に装着したデスポチップを接着液に十分浸し、筆先をそろえます。
- ② ダッペンディッシュに採取したパウダーに筆先を接触させてセメントの玉を作ります。

③ セメントの玉をブラケット面に塗布します。

④ ブラケットを歯面に圧接します。

- ・ポジショニングは速やかに行ってください。
- ・圧接、ポジショニング後はセメントが硬化するまで動かさないでください。
- ・セメントは6~7分で硬化します。(27℃)

⑤ 余剰セメントは、必要に応じて接着液を含ませた筆先で滑らかにするか、インスツルメントで除去します。

⑥ 同様に各歯にブラケットを接着します。

- ・筆積み操作を繰り返し行う際には、筆先に残ったセメントをよく拭き取ってください。
- ・ワイヤーの装着はセメントが十分に硬化していることを確認してから行ってください。

(2) プレプライムド・テクニック

- ① あらかじめ用意したプレプライムドブラケットをピンセット等で把持します。
- ② ブラケットのベース部分を2~3秒、接着液に浸します。
- ③ ブラケットを歯面の所定の位置に圧接します。

4) ブラケットの撤去

- (1) デイボンディングインスツルメントを使用し、ブラケットを取り外します。取り外し方法はブラケットの添付文書を参照にしてください。
- (2) ブラケット除去後に残った接着材を適切なパーを用いて低速で除去します。

*【使用方法に関連する使用上の注意】

- 1) 歯面清掃にはフッ素を含まない研磨ペースト等を使用すること。
- 2) ブラケットの接着面が汚れると、接着強さが低下する。選択時など接着前の操作で、接着面を直接手で触れる等により表面を汚染させないこと。
- 3) 本材の使用に際し、適用面が唾液や血液に接触しないように注意すること。
- 4) 接着面は、前処理終了後、十分に乾燥し、唾液、呼気などで汚染されないようにすること。
- 5) 使用後はすぐに閉栓すること。
- 6) 使用後のパウダーは容器に戻さずに廃棄すること。
- 7) 使用後のダッペンディッシュは、残存物をティッシュ等で除去するか、「スーパーボンド 筆洗い液II」で洗うこと。硬化した場合は、水にしばらく浸漬した後、洗浄、乾燥すること。
- 8) 他の製品と混合して使用しないこと。
- 9) リキッド及びアクチベーターは可燃性である。火気の近くで使用したり、火気の近くに置かないこと。
- 10) デスポチップ筆積L(ピンク)、デスポチップ筆積S(緑)、スポンジ(L・S)は感染防止のため、同一患者のみに使用し、他の患者への再使用はしないこと。
- 11) デスポ用筆柄の先端にデスポチップ筆積L(ピンク)またはデスポチップ筆積S(緑)を確実に挿入し、脱落しないことを確認すること。
- 12) 本材と併用して使用する歯科材料、機器及び器具は、それぞれの添付文書等に記載の使用方法及び使用上の注意事項を厳守すること。
- 13) 感染予防のため、使用中の製品容器に唾液や血液等が付着した場合はアルコール等で適切に清掃し消毒すること。
- 14) 本材は、【使用目的又は効果】の項に記載の用途以外には使用しないこと。

*【使用上の注意】

1) 重要な基本的注意

- ① 本材の使用により発疹、湿疹、発赤、潰瘍、腫脹、かゆみ、かぶれ、しびれ等の過敏症状が現れた患者には使用を中止し、医師の診断を受けさせること。
- ② 本材又はメタクリル酸エステル系モノマーに対する過敏症の既往歴のある術者は、手袋等を用いて直接本材に触れないようにすること。また本材の使用により過敏症状を起こした場合には、使用を中止し、医師の診断を受けること。なお、医療用(歯科用)手袋は、本材の直接的接触を防ぐが、一部のモノマー、有機溶媒が短時間のうちに手袋素材を浸透することが知られているので、本材が付着した場合は直ち

に手袋を捨て、石鹼を使用して流水で手を十分洗浄すること。

- ③MMAの蒸気吸入について、高濃度の蒸気を多量に吸入すると頭痛などのおそれがあるので、十分な換気がなされている場所で使用すること。高濃度の蒸気を多量に吸入した場合は、新鮮な空気場所に移動すること。
- ④使用中、水洗中に誤飲させないこと。万一、誤飲させた場合はうがいをさせ、必要に応じて医師の診断を受けさせること。
- ⑤口腔粘膜や皮膚に付着させたり、目に入らないように注意すること。付着した場合は、すぐにアルコール綿等で拭いた後、多量の流水で洗浄すること。万一、目に入った場合は、すぐに多量の流水で洗浄し、必要に応じて眼科医の診断を受けさせること。表面処理材レッドは皮膚・粘膜腐食性のりん酸を高濃度に含むので、口腔粘膜や皮膚に付着させたり、目に入らないように注意すること(本材自体のpHは1以下)。付着したものを放置しておくとう腫脹や水疱等の症状がでる薬傷の場合があるので、付着した場合は、すぐにガーゼ・綿等で拭いた後、多量の流水で洗浄すること。万一、目に入った場合は、すぐに多量の流水で洗浄し、必要に応じて眼科医の診断を受けさせること。
- ⑥使用するにあたっては、患者の個人差も考慮し、症例に適合するかどうかを判断して使用すること。

2) 不具合・有害事象

本材の使用に伴い、発疹、皮膚炎等の過敏症状が発生することがあります。

【保管方法及び有効期間等】

[保管方法]

- ・リキッド及びアクチベーターは火気厳禁のこと。
- ・多湿、直射日光を避け、室温(1～30℃)にて保管すること。
- ・歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理すること。

[使用期間]

本体に記載の使用期限*までに使用すること。

[記載の使用期限は、自己認証(当社データ)による。]

※(例 □○○○-△△は使用期限○○○年△△月を示す。)

*【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：サンメディカル株式会社

住 所：〒524-0044 滋賀県守山市古高町571-2

電話番号：077-582-9980

フリーダイヤル：0120-418-303(FAX共通)

電話受付時間 月～金(祝日を除く)午前9:00～午後5:30

ホームページ：<http://www.sunmedical.co.jp>